開かれた議会　市民とともに歩む議会　行動する議会

たきざわ市議会だより

第21号
平成30年3月15日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会

「ごみ有料化」で市民懇談会

29年12月27日に自治会連合会（下田富幸会長）の皆さんと「ごみ有料化」について市民懇談会を行いました。議会側からは代表して、ごみ処理有料化に関する調査特別委員会の委員が出席し、テーマを踏まえ懇談しました。

自治会連合会との懇談の様子

市が30年10月からの導入をめざしている家庭ごみの有料化について、下田会長をはじめ各自治会の代表者からは「有料化の前にまず減量を」「市民への説明不足で時期尚早」などの意見が多く出されました。

ごみ処理有料化に関する調査特別委員会調査報告

本委員会は、ごみ処理有料化に関する調査を行うために29年9月6日に設置され、担当課への事務調査、行政視察、市民懇談会を実施するなど調査を進めてきました。

調査に当たっては、次の6つの論点を整理し協議しました。

①政策の必要性

国の動向、岩手県内における本市の状況、将来のごみ処理広域化、市の部局の連携を図って行くことが必要です。

ごみ減量の目的を踏まえ現段階では総合的な政策形成ができているとは言い難く、更に吟味して進めることが必要です。

②提案に至るまでの経緯

27年に行われた財政構造改革検討会での「ごみ処理有料化」を発端として、28年の市長施政方針につながったことを確認しました。今後は財政部局と環境部局の連携を図って行くことが必要です。

③他の自治体の類似する政策との比較検討

北上市、矢巾町、茨城県土浦市の状況を調査し、3自治体とも実施に向けた計画は市民に対して納得できる方法が取られており、本市との進め方に多くの相違点がありました。本市のごみの分別はまだ不十分であることから、本市に合った取り組み方を改めて検討することが必要です。

④市民参加及び協働の実施の有無とその内容

市が行った市政懇談会では、住民協働で「ごみ減量」に取り組むことが必要との意見が多くありました。

本委員会が担当した滝沢市自治会連合会との市民懇談会では、議長宛の要請書を踏まえ、提出の背景や各自治会の現状などを確認し、ごみ有料化の内容などが市民に十分伝わっていないことや、取り組みの期間や方法への疑問から、30年10月のごみ有料化に対しては時期尚早という意見が強く賛成できないが、ごみの減量やリサイクルの導入については、多くの市民は関心があると推察され、今後、市民の意見を十分に取り入れ検討することが必要です。

⑤総合計画との整合性

27年3月に策定された「第1次滝沢市総合計画」には、ごみ処理有料化のみならず、ごみ減量化の方針（計画）は盛り込まれていませんでした。

29年市議会定例会9月会議で、ごみ減量化推進事業を議決しましたが、整合性があるとは言い難いところです。

⑥財源措置、将来にわたるコスト計算及び費用対効果

施策の検討が不十分であり、現時点での詳細な調査や議論は難しく、今後も検討することが必要です。

【調査結果のまとめ】

6つの論点から総合的に判断し、30年10月からのごみ有料化は見送るべきであるとの結論に達しました。

今後は、ごみ有料化の前に、市が集約した市民のアイディアや提言を踏まえ、速やかにごみの減量を徹底することが重要です。

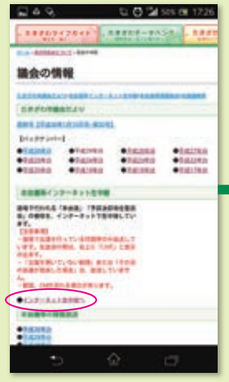
また、今後のごみ有料化に関する検討にあっては、市民へ丁寧な説明を行い、市民のコンセンサス（合意）が得られるよう十分に時間をかけ、判断することを望みます。

議会ホームページをリニューアル　スマホ等でインターネット中継が視聴可能

滝沢市議会では、ホームページをリニューアルしました。市民の皆さまに議会活動の様子や日程・新着情報など、より分かりやすくお伝えします。
また、QRコードも作成しましたので簡単にホームページへアクセスし、議会中継をご覧いただけます。以下はスマートフォンの場合の操作方法です。

滝沢市議会　検索
市議会ホームページにアクセスします

QRコードを読み取ると



議決一覧（12月第2回会議）

○全員賛成で議決した議案

議案第１号	平成28年度市道畜産試験場柳沢線道路改良舗装その２工事請負変更契約の締結について
議案第２号	盛岡地区衛生処理組合の共同処理する事務の変更及び盛岡地区衛生処理組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて
議案第３号	岩手県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて
議案第４号	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議に関し議決を求めることについて

※賛否が分かれた議案はありませんでした。

議決一覧（2月会議）

○全員賛成で議決した議案

議案第１号	平成29年度滝沢市一般会計補正予算（第７号）
請願第１号	「ごみ収集有料化」の中止を求める請願書

※賛否が分かれた議案はありませんでした。

○請願

	件　名	請　願　の　趣　旨	請　願　者	結果
1	「ごみ収集有料化」の中止を求める請願書	滝沢市は2018年10月から、ごみ収集を有料化する計画を進めております。これは市民にはあまりにも唐突であり、有料化が必ずしも持続的な減量につながるという保証もありません。むしろ不法投棄を助長する危険があります。 この「ごみ収集有料化」は、家計に大きな負担となることは必至です。 市は、ごみの資源化・減量計画などを提示し、本来のごみ処理のあり方を含め市民に丁寧に説明する責任があります。それに基づき、市民と自治会・町内会などの協力が得られれば「ごみ減量」は充分可能と考えます。 市の財源不足などを理由に全市民に「ごみ収集有料化」を押し付けないでください。 私たちは滝沢市の「ごみ収集有料化」の中止を求めます。	ごみ処理のあり方を考える滝沢の会 共同代表　菅家 精喜 佐藤 美喜子 鈴木 久美子 藤沢 光一 室月 萬	採択

議会運営委員会活動報告

議会運営委員会では、次のとおり先進地視察調査を行いました。

【調査事項】
市民の意見を踏まえた政策提言の仕組みづくり

【視察先】
岐阜県高山市議会

【期日】
平成29年12月22日（金）

【調査目的】
議会報告会、市民懇談会、市民議会を行った際に寄せられた市民の意見をどのようにまとめ議会活動に生かすか、その仕組みづくりが当委員会の課題となっています。
市民の声を生かし、最終的な「議案審議」や「政策提言」にどのように結び付けるかについて、仕組みづくりを目的に調査研究を行いました。

【視察を終えて】
高山市議会では、委員会を中心に政策提言に係る調査を行い、全議員での十分な討議を経て政策提言につなげていました。
当市議会も高山市議会の活動を参考に、政策提言の実現に向けて仕組みづくりに着手し、引き続き議会改革に取り組みます。

高山市議会との意見交換の様子

滝沢市政調査会・雫石町政務調査会合同研修会開催

30年1月10日、雫石町立中央公民館を会場に、滝沢市政調査会と雫石町政務調査会との合同研修会が行われました。
今回は県内各地で出没が報告されているイノシシの被害対策について、雫石町農林課林業グループ主任の谷崎修さんから講演がありました。
雫石町内での出没の背景や被害対策、実際の捕獲状況について詳しく説明があり、地域ぐるみで被害防止へ取り組むことの大切さを学ぶ機会となりました。

谷崎修さんによる講演

3～5月議会の活動

3月19日（月）	予算決算常任委員会 ※	4月18日（水）	議会運営委員会
3月22日（木）	3月会議 ※	5月17日（木）	議会運営委員会
4月11日（水）	議会運営委員会	5月17日（木）	全員協議会
4月11日（水）	全員協議会		

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。

※は、議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

12～2月会議の傍聴者35名

傍聴におでんせ!

～お知らせ～

◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧いただけます。
◎議場・議会事務局は市役所4階です。
◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますのでご了承願います。

議会事務局　〒020-0692 岩手県滝沢市中鵜飼55　TEL.019-656-6591　FAX.019-684-4195
http://www.city.takizawa.iwate.jp/　E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp

「たきざわ市議会だより」は古紙配合率70%の再生紙に環境にやさしい環境調和型インキで印刷しています。